

# 「こころ」が変だよ 成年後見

⑥

## 後見の杜代表 宮内康二

自分で後見人を決められるというメリットをもつ任意後見の課題を関連統計から探る。

将来に備え任意後見制度を利用した人は、2001年の938名から18年の1万2599名へ増加している。利用した人の総数は同期間に13万1395名で、そのうち7300名が任意後見を実際にスタートさせてきた。

お金関係も何とかしよう  
さ〜という沖繩の雰囲気があると思われる。あなは老後どちらの雰囲気に身を置きたいか。

現在の制度では、スタートした任意後見人の業務をチェックする任意後見監督人を家庭裁判所が選任することになってい

## 任意後見人や任意後見監督人

## 「辞めたい」「辞めろ」が現実

（0・005）で、格差は実に23倍だった。

任意後見を頼んだ後に認知症になる確率が、東京が沖繩の23倍あるはず

頼んだ人が認知症になる前に亡くなる確率（死亡率）を加味すると、任意後見スタート率は8・5%となる。総じて、任意後見を頼んだ12名に1名が中程度以上の認知症になったといえる（軽度の場合は後見無しでもな

お金関係も何とかしよう  
さ〜という沖繩の雰囲気があると思われる。あなは老後どちらの雰囲気に身を置きたいか。

人々の辞任の状況を見てみよう。01年から18年に任意後見監督人を辞めている人は、率を全国主要50家裁判所にランキングしたものであり、1位は滋賀県大津家裁。大津家裁が選任した任意後見監督人の3〜4名に一人（31・88%）が「辞めていいですか？」と家裁に申し立てをしてきた事実が判明した。全国平均の2・8%や、茨城県水戸家裁、沖繩県那覇家裁、秋田県秋田家裁、北海道函館家裁と釧路家裁、徳島県徳島家裁の0%と比較しても、「な

率を全国主要50家裁判所にランキングしたものであり、1位は滋賀県大津家裁。大津家裁が選任した任意後見監督人の3〜4名に一人（31・88%）が「辞めていいですか？」と家裁に申し立てをしてきた事実が判明した。全国平均の2・8%や、茨城県水戸家裁、沖繩県那覇家裁、秋田県秋田家裁、北海道函館家裁と釧路家裁、徳島県徳島家裁の0%と比較しても、「な

家裁別の任意後見監督人辞任申立率

順位	所在地	比率
1	大津	31.88%
2	熊本	17.39%
3	富山	17.16%
4	広島	16.71%
5	神戸	16.51%
6	長野	15.17%
7	大阪	13.21%
8	鹿児島	12.15%
9	京都	12.04%
10	宮崎	11.63%
11	津	10.85%
12	松江	10.71%
13	名古屋	10.54%
14	和歌山	10.41%
15	福井	10.11%
16	盛岡	9.90%
17	金沢	9.69%
18	山口	8.06%
19	奈良	6.71%
20	大分	6.25%
21	福岡	5.95%
22	山形	5.72%
23	高知	5.45%
24	福島	5.41%
25	岐阜	5.06%
26	佐賀	4.84%
27	新潟	4.80%
28	長崎	4.20%
29	静岡	4.03%
30	仙台	3.75%
31	旭川	3.42%
32	さいたま	3.30%
33	前橋	3.08%
34	鳥取、青森	2.70%
36	甲府	2.58%
37	千葉	2.56%
38	岡山	2.53%
39	横浜	2.34%
40	高松	2.33%
41	松山	2.24%
42	東京	1.40%
43	宇都宮	1.20%
44	札幌	0.62%
45	水戸、那覇、秋田、函館、釧路、徳島	0.00%

「辞めたい」「辞めろ」が現実  
「そんな人を選んだあなたも悪い」と言いたいところだが「認知症になる前と後で任意後見人の態度が豹変したんです」という話を聞くこともある。「だったらいって家裁に措置してもらった方が良い」という人もマレにいる。

いずれにしても簡単ではない任意後見、認知症にならないのが一番の策である。